

XDDPスタートダッシュ支援サービス

XDDP : eXtreme Derivative Development Process

■派生開発プロセスXDDPの現状

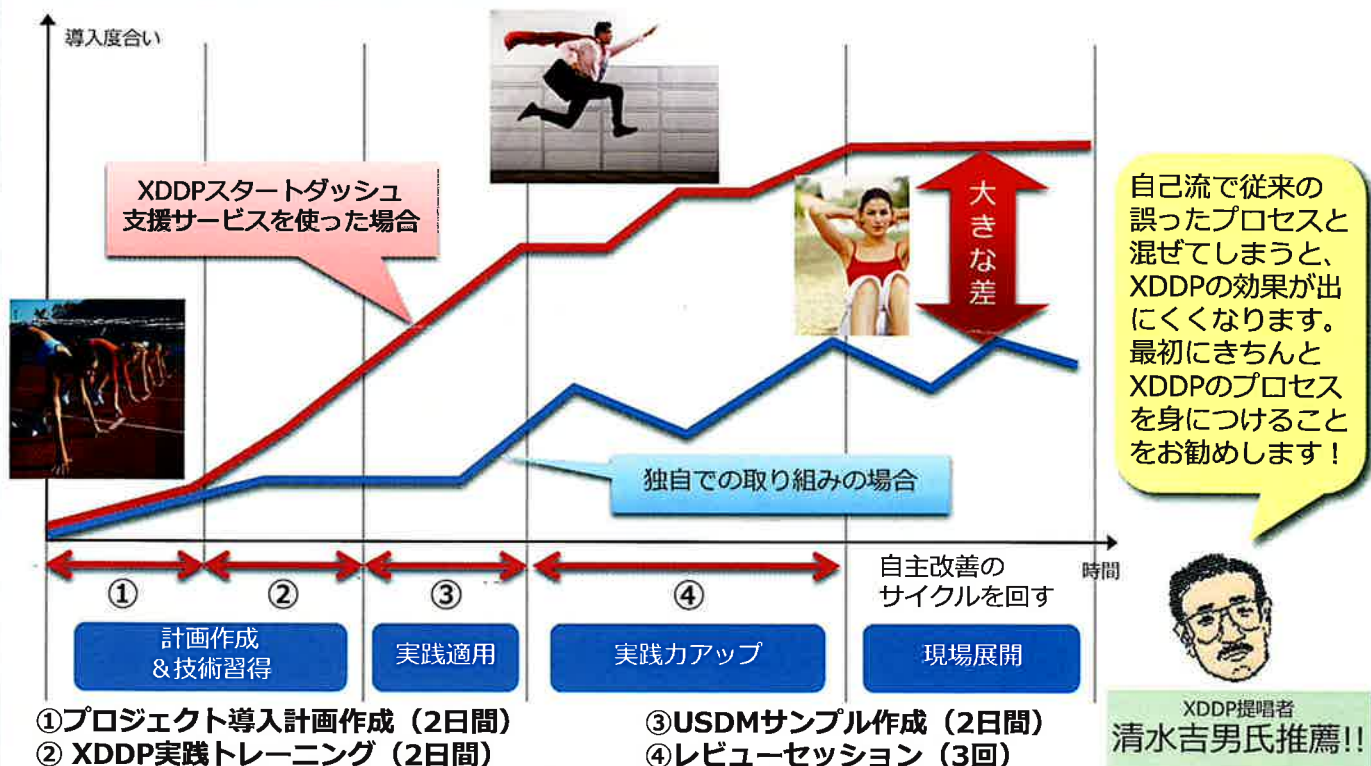
既存のソースコードの変更や追加機能に特化した派生開発プロセス「XDDP」は、派生開発の混乱を鎮め、バグ発生率は1/5から1/10に減少し、工数も平均で3割程度削減できると報告されています。しかし、いざ「XDDP」を適用しようとする、様々な障壁があったり、狙った効果が出ないなど、なかなかうまく行かないといった声も多くお聞きします。

■XDDPスタートダッシュ支援サービスの特徴

エクスマーションでは、XDDP導入のカギは「効果的な導入計画」と「実践上のポイント・コツの習得」の2つにあると考えています。

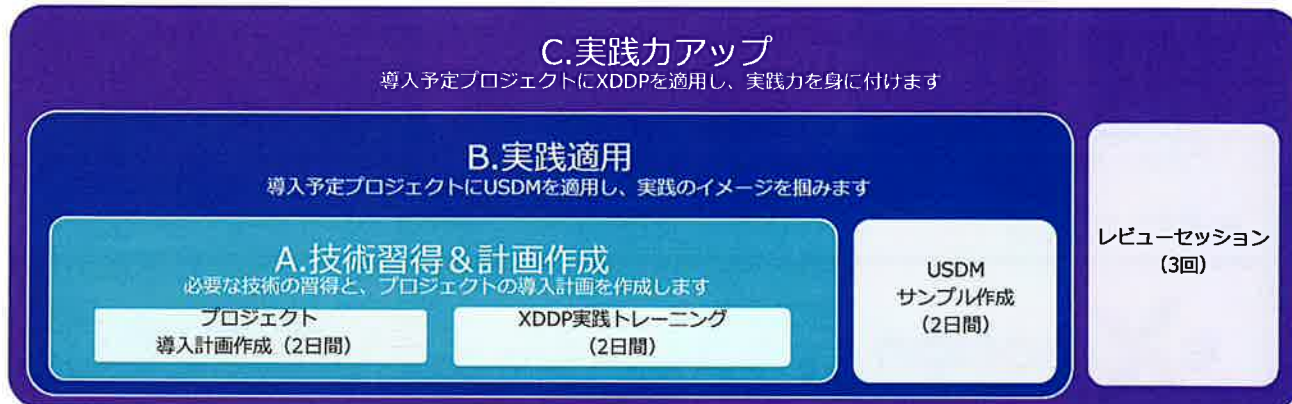
この2つをリーズナブルな価格*と最小限の期間で支援するのが、XDDPスタートダッシュ支援です。

*具体的な価格につきましては、お問い合わせください



■XDDPスタートダッシュ支援サービス概要

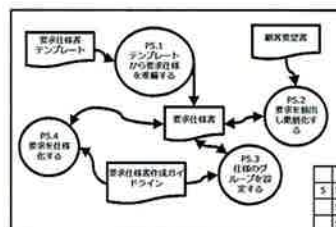
お客様のご要望に合わせて、3つのタイプの支援をご用意しております。



■プロジェクト導入計画作成

XDDPを導入しようとしても、最初はどこからどう手をつけたらいいのか、どうすれば効率よく導入できるかが分かりません。

エクスマーションでは、まずお客様のプロジェクトの状況を把握し、確実に効果出しながらステップアップできる計画を、XDDP導入のロードマップとして作成いたします。



ステップ	内容	進捗
5.1	テンプレートから・・	完了
5.2	変更を輸出し・・	完了
5.2.1	機能名を決定し	完了
5.2.2	機能名を決定し	完了
5.2.3	レビュー	完了
5.3	自社のグループを構築	完了
5.4	変更要求仕様を完成	完了

■XDDP実践トレーニング

どんな技術も、実際に体験してみないと身に付きません。

エクスマーションのXDDPトレーニングは、XDDP提唱者である清水氏公認の演習中心のトレーニングです。USDMによる変更要求仕様書の作成やTMの作成など、実際に手を動かしていただくことで、実践でのリスクを軽減するとともに、自信を持って取り組むことができるようになります。

内 容	
学習	派生開発の現状
	XDDPの概要と効果
	変更のプロセス（USDM、TM、変更設計書）
	機能追加プロセス
	組織的な取り組み
	見積もりと計画
	PFD（プロセス・フロー・ダイアグラム）
実践	各技術要素の練習
	総合演習

■USDMサンプル作成

いざ、実際の開発の変更要求仕様書をUSDMで書こうとしても、最初は記述の詳細レベルもまちまちになったり、書き方に悩んで時間がかかったりしがちです。

そこで、最初にエクスマーションが実際のプロジェクトのUSDMサンプルを作成いたします。それをベースにして、お客様がUSDMを記述することで、記述のイメージがつかめ、以降の開発をスムーズに進めることができます。

サンプルをベースにして、スムーズな導入を！



■レビューセッション

初めて書いたUSDMやTM、変更設計書は「これで良いのだろうか？」と不安になります。そんな不安を吹き飛ばし、自信を持って前へ進むための支援が、このレビューセッションです。

USDMによる仕様記述では、範囲を明確にする具体的な記述や、もれのない分割の視点を見つけることが重要となります。そのような視点は「書く」→「レビューする」の繰り返しで体得するのが近道です。

XDDP導入初期の段階でレビューセッションを繰り返すことで、効率アップとスキルアップが可能となります。



■お問い合わせ

組込み開発力強化は 中堅技術者がカギ

開発現場の改善を実現する 「体験」と「訓練」の研修

アフレルとエクスマーシオンによる技術者育成支援プログラム

EXTRA Dev (Experience & Training programs for Development skills)

中堅技術者への教育は足りていますか？

近年、組込みソフトウェア開発の教育が広く行われていますが、中堅技術者向けの教育は少ない状況です。アーキテクトという技術をリードする技術者向け教育ではなく、開発現場でソフトウェア開発を中心に作業している中堅技術者に向けた教育は限定されます。開発現場では、中堅技術者を対象に開発現場に必要な技術を、モチベーションを持ち、スキルの定着を図る研修が求められています。

一般の中堅技術者向けプログラムです

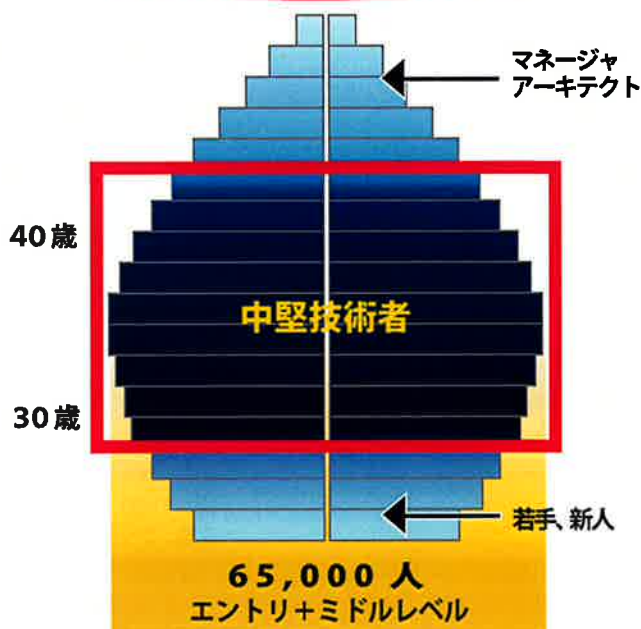
組込みスキル標準 (ETSS) の定義では、ミドルレベルおよびミドルレベルを目指すエントリレベルのソフトウェアエンジニアです。組込みソフトウェア産業実態調査^{*}によれば、ソフトウェアエンジニア (エントリ+ミドル) は6万5千人の技術者が対象になります。サービスの対象者はアーキテクトのようなリーダ人材ではなく、ソフトウェア開発を担当する中堅技術者です。

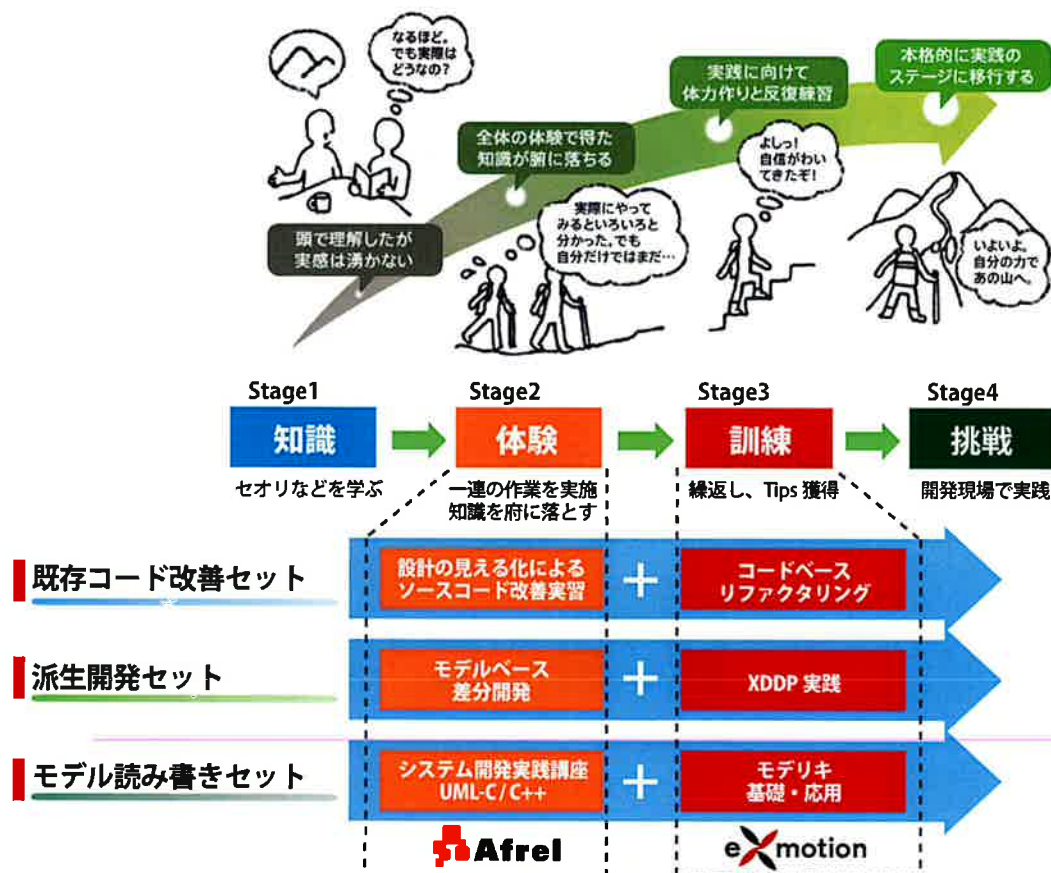
* 2009年版組込みソフトウェア産業実態調査報告書 (平成21年7月、経済産業省)

3つの「体験」+「訓練」セットを提供します

中堅技術者に今必要なのは、即効性の高い“コードベース”、“派生開発”、そして中長期的な開発現場の改善・改革に向けての“モデリング基礎”です。それらの教育を3つのコースとし、「体験」と「訓練」をそれぞれに組み合わせさせていただきます。

スキルの高い中堅技術者の多さが
日本の強さを支える





EXTRA Dev の研修プログラム一覧

コース名	研修名	概要	日数
既存コード改善セット	体験 設計の見える化によるソースコード改善実習	自動搬送システム課題を使い、従来手法によって作成されたソースコードを、構造と振る舞いの両面から見直しをかけます。演習を通して、設計モデルとソースコードの対応付けのやり方を学びます。	3日
	訓練 コードベースリファクタリング	設計原理に基づいたコードベースのリファクタリングの具体的な方法を習得するだけでなく、eXquteを使ってbefore/afterの品質を診断することで、コードの改善を実感として得られます。	2日
派生開発セット	体験 モデルベース差分開発	自動搬送システム課題を利用し3段階の差分開発を体験します。UMLを活用したモデルベース開発の中の内部設計から単体テストまでを注力して演習することにより、影響範囲の局所化、モデルと実装の相関などを認識しやすくします。	3日
	訓練 XDDP実践	派生開発のプロセスは実際に体験してみないと身に付きません。演習中心のトレーニングで、USDMの作成や、TM(トレーサビリティマトリクス)の作成など、実際に手を動かします。	2日
モデル読み書きセット	体験 システム開発実践講座 UML-C/C++	自律型ロボットを使った自動搬送システムを課題として、開発工程全体、分析から設計、設計から実装、テストにいたるまで実践体験を通じた研修です。分析：設計にUMLを利用し、モデルの適用方法や有効性を体験・理解します。	5日
	訓練 モデリキ基礎・応用	身近で小さな問題を繰り返し解くことで、モデリングのコツを身につけます。応用では、小さいけれども手ごたえのある問題を解くことで、各ビューでモデリングの観点と、各ビューの整合性の取れたモデルを作るコツを身につけます。	4日

EXTRA Dev プライベートセミナー(無料)を開催します

日時：2011年6月3日(金)15:00～17:30(14:30開場)

会場：エクスマーショ会議室(東京・田町駅/三田駅)



株式会社 アフレル

東京都中央区日本橋人形町1-3-6 共同ビル(人形町)2F

TEL 03-6661-9251 FAX 03-3249-3741

contact@afrel.co.jp http://www.afrel.co.jp



株式会社 エクスモーション

東京都港区芝5-33-7 徳栄本館ビル8F(受付9F)

TEL 03-6722-5067 FAX 03-6722-5057

info@exmotion.co.jp http://www.exmotion.co.jp/